

明日は、「駅伝・なべっこ」です

3年度目の正直、明日こそは……

私は角中勤務3年目、駅伝・なべっこも3回目です。

本校は、駅伝となべっこを組み合わせ一日行事とし、玉川と桧木内川の合流地点付近（落合球場の南側）の河川敷で実施してきましたが……。

1年目、午前中の駅伝は実施できたのですが、昼頃から雨、なべっこはすぐ避難できる校庭で実施。

2年目、朝から雨で午前中の駅伝は中止、午後のなべっこは2年続きで校庭で実施。

そして今年は、3年度目の正直です。明日の天気予報は晴れ、今年こそは……。



昨年のなべっこ風景です



一昨年のスタート風景です。

秋です、角中生は、これから何を頑張るの！



小倉山の秋の夕暮れです（写真はホームページでもどうぞ）

「〇〇の秋」について、あるアンケート結果では、①食欲の秋、②読書の秋、③スポーツの秋、④芸術の秋、⑤紅葉の秋、⑥行楽の秋の順番だそうです。

夏が終わり、涼しくなりいろいろなことに挑戦できる秋になりました。私は、秋は『勉学の秋』でもあることを、角中生の皆さんに強く意識してほしいと思います。

また、秋の日暮れははやい、という意味の「秋の日はつるべ落とし」という言葉もあります。

今が、角中生の頑張り時です。

保護者の皆様、合唱コンクール・すすかけ祭へのご来校ありがとうございました。

「感謝の心」、感じていただけたでしょうか

統合した昭和60年度の生徒数は788名でしたが、今年度は316名です。

すすかけ祭でもお話をさせていただきましたが、生徒数減少による負の面もありますが、逆に、全校生徒の心を一つにする活動がしやすくなったという利点もあります。この利点を活かして、今年も、昨年に引き続き、「春の全校花見」、すすかけ祭の「全校合唱」を実施しました。

特に、今年は創立30周年ということで、すすかけ祭のフィナーレで「大いなる秋田」の全楽章（約30分）に取り組みました。最後までしっかりと立ち、声を合わせて歌う全校生徒を誇らしく感じ、角中生が確かに成長していることを嬉しく思いました。

このような活動の積み重ねこそが、角中をより良い学校にするためのキーポイントだと思います。



「大いなる秋田」全楽章、約30分間、全校生徒がさわやかにはつらつと歌いきりました。



「ソプラノ」パート



「テノール・バス」パート



「アルト」パート